

やさい週間情報(第45号)

平成30年 2月23日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	3,400~3,200	3,400~3,200	-	1本売り (2L・L) 398~298円	<p>気温の低い日が続いているため、秋冬野菜全般に入荷量は少なく売価高が続いている。ながいもについても未だに売場面積は狭く荷動きの鈍い状況が続いている。</p> <p>1本袋、カットの併売が基本となっているが、特にカットについては、消費宣伝会や特売等により、ある程度の売価の下げがみられ、太物の荷動きは比較的良いものの、特にC品や2L級の荷動きは緩慢な状況が続いておりやや弱めの相場展開となっている。</p> <p>他の秋冬野菜の出回りが増える3月上中旬までは継続的に都内量販店での販促活動を実施し、売り場の拡張を促すとともに消費の拡大に努める。</p>
		A3L	3,400~3,200	3,400~3,200			
		A2L	3,400~3,200	3,400~3,200			
		A L	3,400~3,200	3,400~3,200			
		A M	3,200~	3,200~			
		B4L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		B3L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		B2L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		B L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	2,800~2,600	2,800~2,600			
		C L	2,600~2,500	2,600~2,500			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	3,500~	3,500~		1本売り 398~298円	<p>本県産および北海道産中心の販売となっている。</p> <p>ながいもは安定した売場を確保しており、売価も変わっていない。ただ、気温の低さに伴う消費の低迷と高値傾向が続く品目が多いこともあり、入荷の多かったC品を中心に市況は弱含みでの推移となった。</p> <p>来週についても、管内への入荷は変わらない見込みの中、月末を迎えることもあり厳しい販売が見込まれる。消費宣伝を実施しながら末端の需要喚起を図り、荷動きの良化に努める。</p>
		A3L	3,500~	3,500~			
		A2L	3,500~	3,500~			
		A L	3,500~	3,500~			
		A M	3,200~	3,200~			
		B4L	3,300~	3,300~			
		B3L	3,300~	3,300~			
		B2L	3,300~	3,300~			
		B L	3,300~	3,300~			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	3,000~	3,000~			
		C L	2,600~	2,600~			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	3,500~3,200	3,500~3,200		カット 58~38円/100g	北海道産および本県産の販売。 両産地とも入荷量は多くないが、気温が低く、末端消費が鈍いことから荷動きも鈍い状態が続いている。量販店では、引続き太物のカット売りを中心に売込みがかけられており、店舗数は少ないものの細物を1本売りする店舗もあるため、M・S級の引合いは強くなっている。 来週後半から、気温が幾分高くなる予報となっていることから荷動きは良化していくと思われるが、仲卸在庫が多いことから価格は弱保合で推移する見込み。
		A3L	3,500~3,200	3,500~3,200			
		A2L	3,400~3,200	3,400~3,200			
		A L	3,400~3,200	3,400~3,200			
		B4L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		B3L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		B2L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		B L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		C2L	2,800~2,600	2,800~2,600			
		C L	2,600~2,400	2,600~2,400			
		九州	本県産	A4L			
A3L	3,500~3,400			3,500~3,400			
A2L	3,400~3,300			3,400~3,300			
A L	3,300~3,200			3,300~3,200			
B4L	3,200~3,000			3,200~3,000			
B3L	3,200~3,000			3,200~3,000			
B2L	3,200~3,000			3,200~3,000			
B L	3,000~2,800			3,000~2,800			
C2L	2,800~2,600			2,800~2,600			
東北	本県産 北海道産	A4L	3,200~	3,200~		1本売り 398~298円 カット 100 78~58円	本県産中心の販売。 引続き本県産の入荷量は変わっていない中、量販店の売価も変わらず、特売等の大きな動きも少ないことから市況は、保合推移。 来週についても、入荷量は極端な増量とはならず市況は保合で推移する見通し。
		A3L	3,200~	3,200~			
		A2L	3,200~	3,200~			
		A L	3,300~3,200	3,300~3,200			
		B4L	3,000~2,800	3,000~2,800			
		B3L	3,000~2,800	3,000~2,800			
		B2L	3,000~2,800	3,000~2,800			
		B L	3,000~	3,000~			
		C2L	2,800~2,600	2,800~2,600			
		C L	2,500~2,400	2,500~2,400			

品名 にんにくNo.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,200~2,000 1,800~1,700 1,500~1,400	2,200~2,000 1,800~1,700 1,500~1,400	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	<p>入荷量の多い状態が続いており、M級を中心に若干滞荷が見られる。また、2L級についても安価な転送品の出回りの影響もあり厳しい販売が続いている。L級は流通在庫も少しずつ増えてはいるものの、単価がこなれていることからM級ほど荷動きは悪くなく、弱保合での販売となっている。</p> <p>来週以降、徐々に出荷量は減っていく見込みだが、これまでの流通在庫もあるため、相場は保合見込み。引き続き、ながいもと合わせた販促活動を行い荷動きの良化および消費拡大に努める。</p>
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,000~ 1,800~ 1,600~ 1,800~ 1,600~ 1,400~	2,000~ 1,800~ 1,600~ 1,800~ 1,600~ 1,400~		L 1 P 298~198 円	<p>本県産中心の販売となっている。</p> <p>これまでの潤沢な入荷から流通在庫が多い中、末端の売価も高く、入荷の多いM級を中心に弱含みでの推移が続いている。</p> <p>流通在庫を抱えながらの販売が続くものと思われるが、今後徐々に入荷量が減少する見込みから、価格については概ね保合での販売となる見通し。</p>
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,200~2,000 1,800~1,700 1,600~1,500	2,200~2,000 1,800~1,700 1,600~1,500		L 1 P 298 円 M 1 P 198 円	<p>本県産中心の販売。</p> <p>管内への入荷量は減少してきているが、依然として安価な転送品の出回りは増えており、総体量は横ばいとなっている。量販店では、価格を抑えたM級とレギュラーのL級を、売り場を広げて併売する動きがあるものの、流通在庫の多さから荷動きは鈍い状況が続いている。</p> <p>来週についても、安価な転送品の出回りは引続き多いとの予想から、保合での販売となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,200~2,000 2,000~1,800 1,500~1,400	2,200~2,000 2,000~1,800 1,500~1,400			<p>本県産の流通量が今週から減少傾向となっているが、流通在庫の軽減にはなっておらず、価格は弱めで推移している。</p> <p>しかし、安価な転送品は極端な安値がなくなりつつあり、今後は流通在庫の軽減が図られてくる見込み。</p> <p>来週も本県産は出荷減になるが、荷動きの回復にはまだ時間がかかる見込みのため、価格は弱めのまま推移する見込み。</p>

品名 にんにく No.2

東北	本県産	A 2 L A L A M	2,000~ 1,800~1,700 1,600~1,500	2,000~ 1,800~1,700 1,600~1,500		L 1 P 258~198 円	引続き、県内市場への入荷が増加しており、市況は全体的に弱含み推移。また、2 L 級については、他階級と比べ価格面で割高感がでてきており、引合いは L・M 級へ移ってきている。 来週により、本県産の出荷量が徐々に減少となるものの、市場在庫が多く、市況は弱含み推移の見込み。
----	-----	---------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--	--------------------	--

品名 ごぼう No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 茨城県産	本県産 (10K) A 2 L A L A M (4K) A 2 L A L A M	1,600~1,400 2,200~2,000 2,500~2,400 800~ 700 1,100~1,000 1,200~	1,800~1,600 2,600~2,500 2,800~2,600 800~ 700 1,100~1,000 1,300~1,200		L 1 本 128~198 円	本県産中心に茨城県産、九州産の新ごぼうの販売となっている。 本県を始め各産地とも入荷量は少なく九州産の新ごぼうの入荷も不安定となっており、総体的に少ない状況が続いている。加工業者の在庫も少なくなっていることから 2 L ~ M 級への注文も増えており、先週より更に一段上げての販売となっている。 今後も引き続き入荷が少ないことが予想されるため、全体的に強めの相場展開で推移する見込み。
名古屋	本県産 九州産	A M A 2 M A S A 2 S	2,500~2,300 3,200~3,000 2,400~2,200 1,500~1,300	2,500~2,300 3,200~3,000 2,400~2,200 1,500~1,300		2 M 2 本入 198~158 円	本県産および九州産（新ごぼう）の販売となっている。 本県産の入荷量が少ない状況が続いている中、売場の中心となる細物が入荷が特に少なく、2 M を中心に各等階級とも上げ基調での販売となっている。 春堀りが開始する来月中旬頃までは、入荷が少ない状況が続く予想から、来週も引合いが強い状況が見込まれ、価格についても強含みで推移するものと思われる。

品名 ご ぼ う No. 2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 関東産 九州産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	1,600~1,500 2,000~1,800 2,400~2,300 2,800~2,400 3,000~2,800 2,200~2,000 1,800~1,700	1,600~1,500 2,000~1,800 2,600~ 2,800~ 3,000~ 2,200~ 1,800~		2 Mハーフ 158~138 円/ P S 2 P 158~198 円/ P	<p>本県産・関東産と九州産（新ごぼう）の販売。</p> <p>本県産・関東産とも入荷量が減量しており、引合いは強まっている。なお、全ての等階級で一段上げでの販売となったが、特に量販店向けとなるM・2M級で特に引合いが強く、価格は強含み推移となっている。</p> <p>来週についても入荷量は少ないことから、特に量販店向けとなるM・2M級を中心に引合いは強いと想定され、堅調な販売となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,000~1,800 2,800~2,600 2,800~2,600	2,000~1,800 2,800~2,600 2,800~2,600		2 P 198 円~158 円	<p>生育遅れとなっている鹿児島県産は、今週から入荷増となり始めているが、依然として太物の割合が少なく、加工・業務関係の在庫数量の少なさから、太物の発注も上がっており、価格は全般的に上げ基調となっている。</p> <p>量販店からの発注量は、L・M級中心の一定量となっており、引合いは強くはないが、他野菜の売価高の影響を受け売り場は広く維持されている。</p> <p>来週も鹿児島県産等、九州各産地の入荷量は増加傾向となるが、加工・業務筋からの発注が引き続き上がってきていることから、価格は強めのまま推移する。</p>
東北	本県産	4 k g A 3 L A 2 L A L A M	600~ 800~ 1,200~1,100 1,400~1,300	600~ 800~ 1,200~1,100 1,400~1,300			<p>本県産中心に一部九州産の洗いごぼうの販売。</p> <p>本県産中心の販売となる中、入荷量は変わらず少ない状況が続いている。また、春掘りも3月まで見込めないことから、市況はL・M級を中心に一段上げとなっている。来週についても、入荷量の増加は無いことから、市況は強含み推移の見込み。</p>